

令和5年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立揖屋小学校

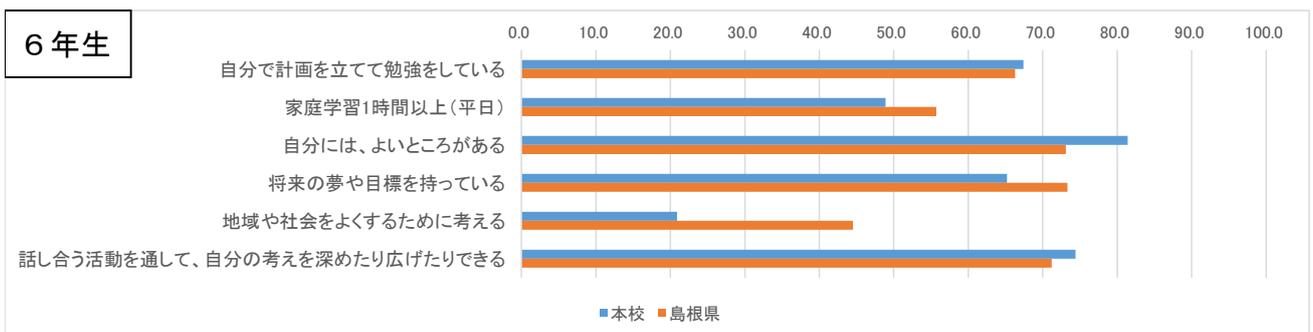
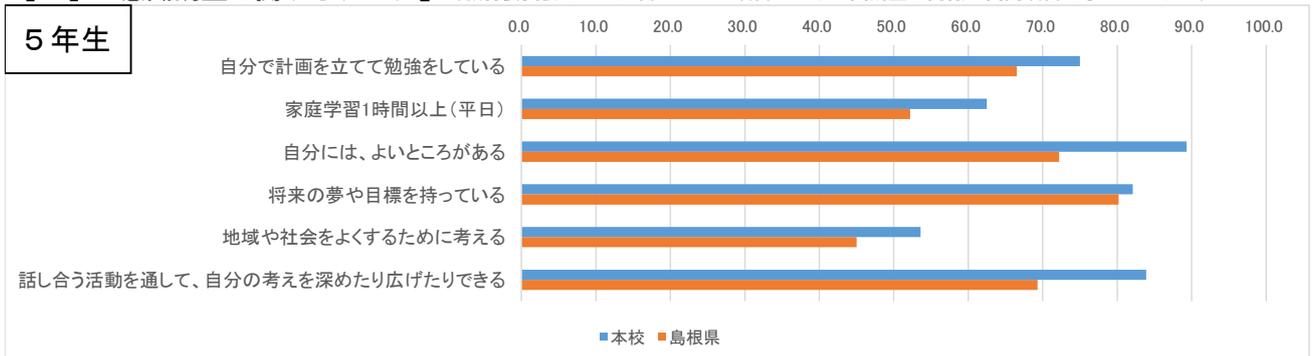
【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・教科の正答率はほぼ県平均値並みで、問題別でみると文章を書く内容が県平均を6ポイント下回っているが、その他は概ね県平均並みかやや上回っている。 ○漢字を読むこと・書くことに関しては県平均値を上回っており、学習内容の定着ができています。 ○物語文や説明文からの読み取りはほぼ県平均値並みだった。 ●言葉の学習に若干の弱さがみられる。 ●指定された条件に即して文章を書くことに弱さがみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科の正答率が全国値と比較して12ポイント近く下回っている。領域別・問題別にみても、すべて下回っているが、情報の扱いに関する事項の領域は前年度比で大きく向上している。 ○情報を収集整理する活動は、国語以外の教科でも項目の起こし方や表現の仕方について言葉に留意して取り組ませるようにした。 ●漢字を書く問題では、日常生活で安易にかなで表記しようとする傾向があり、学習内容の定着度が低い。 ●要旨をまとめることや自分の思いや考えを文章にまとめる際、指定された条件に従って文章を構成することに弱さがみられる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・教科の正答率はほぼ県平均値並みだった。 ○分数のたし算・ひき算は、県平均を10ポイント以上上回っており、概ね理解できている。 ●学習課題への取り組み方として、問題文に示されている指示内容を十分把握せずに活動を進めようとする傾向がある。そのため求められていることは異なる結果を出してしまい、本来の結果を導き出すまでに余計な過程に時間を要することが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科の正答率が前年度比較で3ポイント向上し、県平均と目標値を上回った。問題別では文字と式、対称な形は県平均を下回ったが、それ以外の内容は県平均値を上回った。 ○単元ごとに5～10枚の冊子状に綴じた補充プリントを用意し、授業と家庭学習で利用することで全体の習熟度が向上してきている。 ○学習内容の定着度が上がりにくい児童には個別指導の充実により理解度を上げるようにした。 ●自分の考えをまとめたり立式したりしたとき、その考え方を言葉で説明することには弱さがある。

【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
意識	<ul style="list-style-type: none"> ○自己肯定感が高い。 ○家庭学習については、学校で課せられた課題のほかに自主学習への取組ができています。 ○授業で仲間と意見交流を行うなど、対話を通して学習を進めることに価値を見出している。 ●家庭学習に取り組んでいる時間については十分とは言えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自己肯定感が高い。 ○授業で仲間と意見交流を行うなど、対話を通して学習を進めることに価値を見出している。 ●家庭学習への取組に課題がある。 ●自分のことや地域・社会の将来のことにに関して関心が薄い。

【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R5学力調査受検者数】

5年生 57名

6年生 44名

(欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示)